

令和5年度 気仙沼市唐桑小学校
 特別の教育課程「海と生きる探究活動」実施状況及び学校関係評価

1 「海と生きる探究活動」実施状況

単位:時間

学年	計画時数	実施時数	備考
3	45	45	総合25+教科20
4	45	45	総合25+教科20
5	55	55	総合35+教科20
6	55	55	総合35+教科20

2 「海と生きる探究活動」学校関係者評価

※アンケートの数値は、肯定的な評価(とても当てはまる・当てはまる)の割合(%)を示す。

学校教育に関する保護者アンケートから

令和5年11月実施

項目	評価
夢や目標の実現のために努力する児童の育成	98.9
地域に対して誇りを持ち、未来に生きる人材育成につながる教育活動推進	100
活動の内容や児童の様子などの情報公開	97.5
児童の様子や頑張りについての情報発信	84.5

「海と生きる探究活動」に関する児童アンケートから 令和4年6月・令和5年1月実施

項目	評価
主体的に活動に取り組もうとする態度	99
課題を自分事として捉えようとする心情	98
地域の人々との交流や体験活動への意欲	98
既習事項を生かして活動に取り組もうとする態度	96
多様な見方・考え方による思考	83
学習を基に、自ら実践しようとする態度	99

3 考察

○保護者アンケートでは「海と生きる探究活動」の取組に対する保護者の評価は高い。
 ○児童アンケートでは、いずれの項目も肯定的な評価を保っている。「海と生きる探究活動」に興味を持ち、意欲的に取り組んでいることがこの結果からも分かる。

・学校便りや、ホームページ、懇談やPTAの話し合いの場でさらなる情報発信に努めたい。

・校内研修を充実させていくことや探究コーディネーターを活用すること等で、児童が一つの方法だけでなく、様々な解決方法、探究方法を活用していけるよう指導・支援を工夫するとともに、他教科との関連を図って指導していく必要がある。

・今後も同様のアンケートを取り、比較して授業の改善に生かしていく。